

## 1. 概要

日 時：平成 19 年 9 月 8 日(土) 13:00～16:10 (展示コーナー 10:00～17:00)

会 場：こまつドーム

主 催：国土交通省北陸地方整備局、石川県、小松市

後 援：

(財)石川県下水道公社、石川県流域下水道協議会、梯川右岸下水道促進連絡協議会、石川県都市計画協会、石川・福井湖沼水質浄化対策研究会、石川県土地改良事業団体連合会、(社)石川県浄化槽協会、木場潟環境整備促進期成同盟会 等

来場者数：約 400 名

## 2. プログラム

### (1) 県民フォーラム

#### ①開会あいさつ

小松市長 西村 徹 氏

国土交通省 北陸地方整備局建政部長 加藤 茂 氏

石川県環境部長 稲手 信次 氏

#### ②パネルディスカッション 「木場潟の水辺の輝きを未来に」

##### ◇コーディネーター

池本 良子 氏 金沢大学大学院自然科学研究科教授

##### ◇パネリスト

村島 和男 氏 石川県立大学生物資源環境学部環境学科教授

土田 準 氏 木場潟再生プロジェクトリーダー

平山亜希子 氏 福井県自然保護センター職員

鈴木 保男 氏 小松市下水道接続促進サポーター

岡本誠一郎 氏 国土交通省都市・地域整備局下水道部流域下水道計画調整官

#### ③太鼓演奏 「久谷太鼓」による演奏

#### ④特別講演 「私の取材手記から～私達の暮らしと水環境」

講 師：キャスター・エッセイスト 福島 敦子 氏

### (2) 展示コーナー

生活排水処理（下水道、農業集落排水）の紹介パネル、木場潟周辺小学校児童の図画作品展示、家庭から排出される汚れ実物展示、維持管理機器及び生活排水設備の展示、浄化槽の実物展示、下水道リサイクル製品の展示、水環境にちなんだクイズラリー など

### (3) 木場潟公園見学

水と緑のふれあいパーク内の水質浄化施設「ビオパーク」など見学。

## (1) 県民フォーラム

### ① 開会挨拶

■小松市長 西村 徹 氏



■国土交通省 北陸地方整備局建政部長 加藤 茂 氏



■石川県環境部長 稲手 信次 氏



## ② パネルディスカッション 「木場潟の水辺の輝きを未来に」

■コーディネーター：池本 良子 氏



■村島 和男 氏



■土田 準 氏



■平山 亜希子 氏



■鈴木 保男 氏



■岡本 誠一郎 氏



#### ④ 特別講演 「私の取材手帳から～私達の暮らしと水環境」

キャスター・エッセイスト 福島 敦子 氏



## (2) 展示コーナー

会場では、浄化槽の実物模型、木場潟周辺小学校児童の図画作品、木場潟に住む生き物などの展示がおこなわれ、会場を訪れた地元住民や子供たちの関心を集めた。



浄化槽の実物模型



木場潟に住む生き物



下水道リサイクル品



木場潟周辺小学校児童の図画作品



下水道の紹介パネル



水を美しくする微生物

## ■ 会場の様子

講演や展示コーナーの他、クイズラリーや久谷太鼓による演奏がおこなわれ、フォーラムを盛り上げた。又、フォーラム終了後には、木場潟公園の見学会も開催された。



会場（小松ドーム）



展示コーナー全景



フォーラム受付



クイズラリー受付



久谷太鼓による演奏

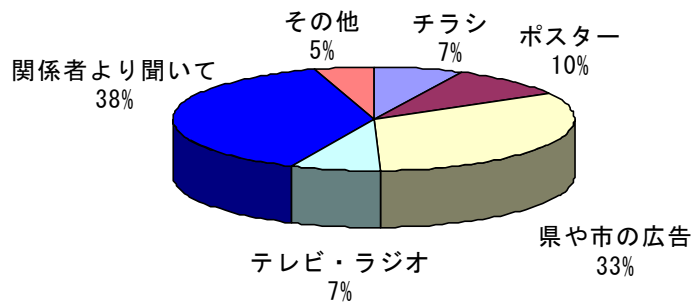


木場潟公園の見学

## ■ 参加者アンケート結果

### 問1：本日の催しをどこでしましたか

フォーラムを知ったきっかけでは、「関係者より聞いて」の回答が半数以上で最も多かった。主催者から関係各所へ精力的な呼びかけを行った事が、400人近い参加者を集める事ができた原動力となっていた事がうかがえる。又、「県や市の広告」もフォーラムのPRに効果的であった。



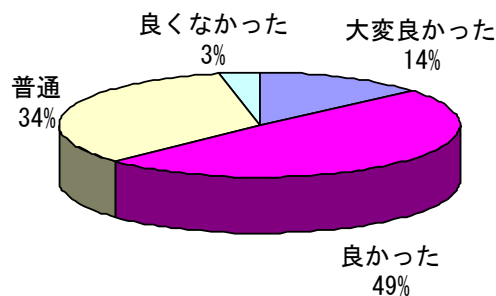
(その他の意見)

・新聞の記事 ・市より管工事組合へ ・町内会の市よりの配布 ・地区代表の代わり

### 問2 本日のフォーラムの内容はいかがでしたか

#### ◇パネルディスカッション「木場潟の水辺の輝きを未来に」

「大変良かった」、「良かった」の回答が60%以上となっており、身近な環境である木場潟をテーマに取り上げたことで、関心を持って参加できる内容となっていたと考えられる。

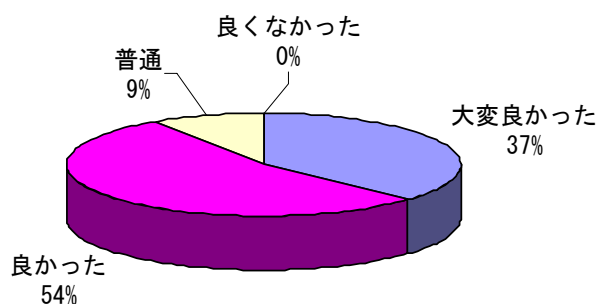


(アンケートで答えた理由)

- ・新しい考え方が出てこなかった。
- ・もっと具体的な再生方法を話し合ったらよかった。
- ・木場潟をよくする為、私達がどのようなことに取り組んでいくべきか考えさせられた。
- ・三方湖の例（沈水植物の話）、下水道接続率アップの必要性が再認識させられた。
- ・他県の水辺浄化の事例を知ることができた。
- ・ディスカッションの時間がなかった、質問する時間がなかった。
- ・パネラー同士の意見のぶつかり合いが欲しかった。（同じテーマへの見方の違いを知りたかった。）
- ・人間と自然との関係、特に毎日の生活に必要な水について考えさせられた。

#### ◇特別講演「私の手帳から ～私たちの暮らしと水環境～」

「良かった」、「大変良かった」の回答が90%以上となっており、取材体験に基づいた福島氏のお話が、大変興味あるものであった事が伺える。



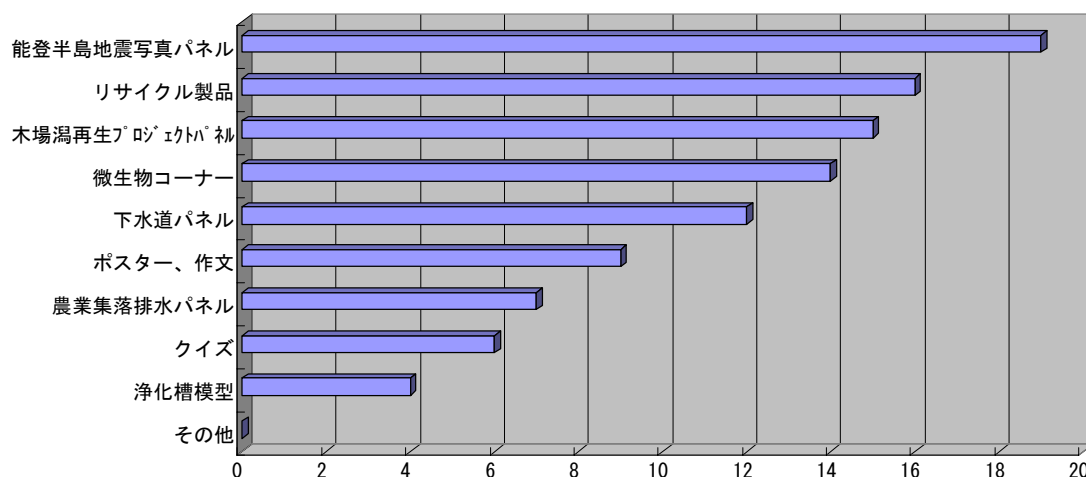
(アンケートで答えた理由)

- ・自然に大きな負担を掛けない考え方に気づいた。
- ・環境の大切さがわかった。
- ・企業の環境問題への取組みが非常に興味深かった。
- ・日本人の飽食への反省、スローフード運動。
- ・食の考え方は、その通り。
- ・事例ではなく、実際にあった人との話には惹かれる内容が多い。
- ・福島さんが大好きだから、内容もとても良かった。

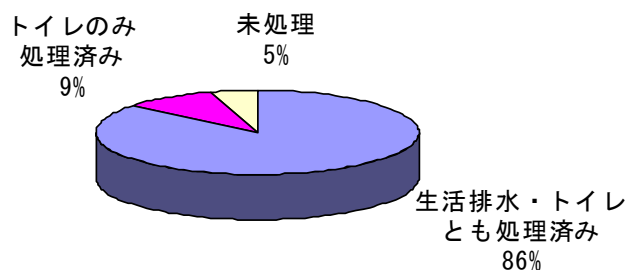


### 問3 展示コーナーで、興味深かったもの

展示コーナーで興味深かったものについては、「能登半島地震写真パネル」が19件で最も多かった。身近に起こった災害とその復旧活動に関して強い関心が寄せられた。また、リサイクル製品や、木場潟再生プロジェクトなどの展示にも多くの関心が寄せられ、環境問題への意識が高まってきていることが伺えた。

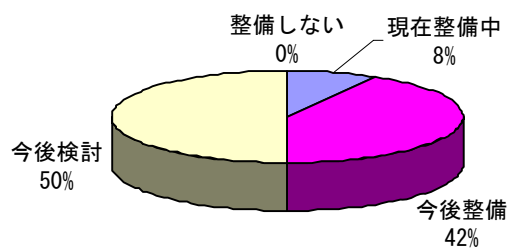


### 問4 ご自宅の生活排水処理について、現在の状況



### 問5 今後の生活排水処理施設整備（下水道、浄化槽等）に対する考えをお願いします。（問4で2または3とお答えになった方にお伺いします。）

未処理と答えた人の中から、整備しない、との回答は1件も該当なく、生活排水処理施設整備へ理解が得られてきている事が伺えた。



問6 問5で4とお答えになった方、その理由は何ですか。

該当なし。

問7 生活排水処理施設の普及促進についてのご意見、また、日頃の生活の中での環境配慮の取り組みについてお書きください。

日頃の生活の中での環境配慮の取り組みとして様々な意見が出され、環境配慮への関心が高まってきている事が感じられた。

- ・水の使用についてできるだけ汚さないようにしている。
- ・雨水の利用＝庭木の水やり
- ・洗面所の水を細くしている。
- ・シャワーの出しっぱなしをやめる。歯磨きの時に水を止める。
- ・歯磨きの時などは水を止めている。
- ・風呂の残り湯の洗濯への再利用。
- ・家族そろっての食事を励行している→まとめ洗いで洗剤や水の量を減らしている。
- ・排水口にストッキングとアルミ泊、油ものやソースはふき取る、マイバック、洗剤の量、生ゴミは畑へ、
- ・台所洗剤はなるべく使用しないように心がけている。
- ・洗剤をうすめて使用している。
- ・食品残渣をコンポスト利用で、ボカシを作り肥料化している。
- ・食料品、野菜くず等の堆肥化により自然に返す。
- ・フライパンなどの油はふき取っている。
- ・物を残さない。
- ・油の量を減らす。
- ・ゴミを出さないようエコクッキング、マイバッグ使用。
- ・日頃、電気、マイバック、ゴミ（肥料に）等、環境に気をつけて生活しています。
- ・ゴミの不法投棄をしない。
- ・ゴミの分別処理、マイバックによるゴミの減量、使用済食用油を回収処理に出し、排水孔に流さない。
- ・ゴミの分別、公共交通と自転車の利用、省エネ、風呂の水を洗濯に利用。
- ・マイバックの利用、常日頃、エコを口にするようにしています。
- ・マイバックを使っている。
- ・マイバック、無駄な電気を消す。
- ・冷房などあまり使用しない。
- ・エコドライブ、節電、節水。
- ・電灯はすぐ消す、トイレの便座の蓋を閉める、主電源でSWの入切をする。
- ・行政の接続アピールが足りない。お願いではなく指導とすべきである。
- ・木場潟の浄化ばかりをどうするかも必要だが、ゴルフ場等の調整池から流出する水も調査したらどうか、ゴルフ場に関してどう考えるか？

以上